

令和6年度

年末・年始

セーフワーク

Safe Work

推進強調期間

年末年始における死亡災害の撲滅を目指し、
建設現場に対して集中パトロールを実施します！

期間 令和6年12月1日（日）～令和7年1月31日（金）

死亡災害では、依然として建設業が最多（令和6年9月末日現在11人。全業種25人の約半数。）であることから、集中的な建設現場の指導を実施します。

Ketui
決意表明

Kanri
Kasseika
管理活性化

Kousyo
高効率

Kyouiku 教育強化

安全衛生管理活動の「4K」の徹底をお願いします！

～ 皆様へのお願い ～

- ① 年末・年始の繁忙期をとらえた計画的、かつ、安全衛生に配慮した事業の運営
- ② 事業場内に「Safe Work」のロゴマークを掲示することなどによる労働災害防止の気運の醸成
- ③ 各関係団体幹部、各事業場の経営トップによるパトロールの実施
- ④ 安全衛生管理活動の的確な実施及び活性化に向けた取組
- ⑤ 墜落・転落災害、行動災害防止を始めとする安全衛生意識の向上等を目指した安全衛生教育の徹底（災害事例の共有や体験型安全衛生教育の実施等）
- ⑥ 各業種、各事業場における過去発生した災害を踏まえた労働災害防止対策の徹底
- ⑦ 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
- ⑧ 積雪・凍結等、冬期における転倒防止、交通労働災害防止対策の徹底
- ⑨ 大掃除や棚卸し等の作業における脚立・はしごからの墜落、転落防止対策の徹底
- ⑩ その他、本強調期間にふさわしい創意工夫を凝らした取組

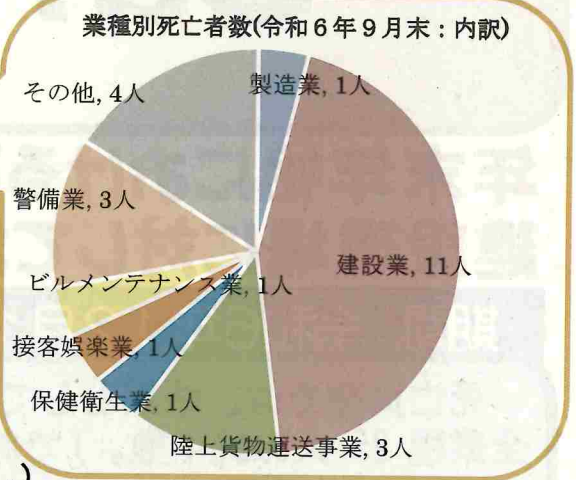
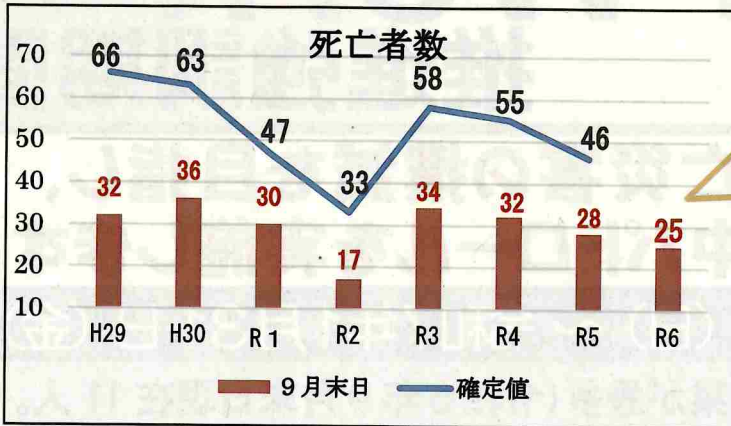
意識



令和6年（9月末日現在）の東京労働局管内の労働災害発生状況

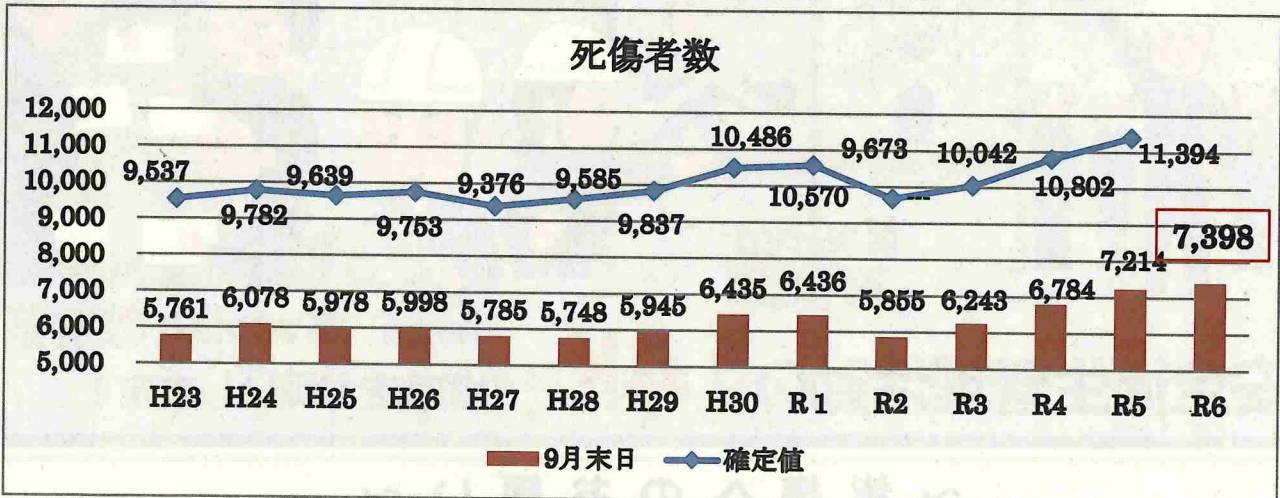
死亡者数（25人 新型コロナウイルス感染症り患者を除く）

- ・ 製造業1人、建設業11人、陸上貨物運送事業3人、ビルメンテナンス業1人、警備業3人など。
- ・ 事故の型では「墜落、転落」が最も多く6人死亡。



死傷者数（7,398人。新型コロナウイルス感染症り患者を除く。）

- ・ 前年同期を上回っており、**年間1万人を超えるおそれ**。
- ・ 前年同期に比べ、運輸交通業、小売業、飲食店、ビルメンテナンス業において増加している。
- ・ 事故の型では「踏み抜き」、「高温・低温の物との接触」、「激突」が特に増加。



年末・年始に発生した災害事例

小売業
(年齢：60歳代)
トラックから台車を降ろす際、台車が倒れかかってきて、肩を強打したものの。(休業1ヶ月)

建設業
(年齢：50歳代)
ユニック車で資材を搬出する際、吊り荷の下に入り、骨折した。(休業3ヶ月)

ビルメンテナンス業
(年齢：40歳代)
外壁の窓を脚立を使用して清掃していた際、バランスを崩し転落したもの。(休業1ヶ月)

食料品製造業
(年齢：30歳代)
フライヤーで揚げ物をしている際、油が目跳到り負傷した。(休業1ヶ月)